

神の武器である祈り

救いのための祈り②

Ⅱコリント10：3～5

エペソ6：13～18

私たちが愛する人々にキリストを信じてもらいたいと願うとき、どうするでしょうか。まず、教会で行われる礼拝や集会コンサートなどに誘います。快く来てくれたら、次もまた来てくれるように願って誘いますが、やり過ぎると…、失敗します。なぜなら、押しつけられたように感じるからです。人は「何をするのかを、人に指図されるのはイヤです」これは、私たちの心にあるプライドです。人の心には様々な思いがあり、これを知らないで、良いと思ってしつこくすると、状況は悪くなってしまいます。そうなる前に、私たちはイエス・キリストの名により祈る必要があります。神の時が来るまで時間はかかるかも知れませんが、必ず答えられます。「イエス・キリストの名による祈り」は、神の最も効果的な武器です。

聖書の学び

I、人の心にある要塞^(壁) (Ⅱコリント10:4)

1、「神の武器は…人の心にある要塞を打ち倒す」とあります。この世でいう「要塞」とはどのようなものでしょうか。

①「要塞」→ 堅固な城、砦 (普通の家ではない、攻略するのが難しい)

②「要塞」の目的は、支配者がそこからその地域と人々を支配する

※キリストは「捕らわれ人には解放を… 告げ、虐げられている人を自由の身に」(ルカ4:18)するために遣わされました。

③「覆い」がかけられて、神様が見えなくなった人の心に「要塞」ができる。

2、人の心の「要塞」の主要な構成部分 (Ⅱコリント10:5)

①様々な議論(論理、理論)：計算高い考え方、経験から来る、ものの見方や偏見の心。
新改訳三版では「思弁」logic の語源

* 人は福音を聞くと、まず自分が今まで培って来た情報と照らし合わせ、それを加えて考える

②あらゆる高ぶり(高慢)：神様のみこころより、自分の考えを優先し、神に対抗する心。

③すべてののはかりごと：悪魔の計画や誘惑に陥りやすい、弱い心。

Ⅱ、心の戦場での祈りという戦い

1、戦いのために備える神の武具は何でしょうか。(エペソ6:13～18)

- ① 真理の帯 ②正義の胸当て ③平和の福音の備え
- ④ 信仰の盾 ⑤救いの兜 ⑥御霊の剣：神のみことば

2、武具を身につけて戦うとき、どのような効力があるのでしょうか。
(Ⅱコリント10:4)

①肉のものではない… 人間的なものではない--- エリコの城も崩す力がある

②キリストに服従させる… 堅固な「要塞」であっても征服できる。

- ・ヨハネ14:13～14… イエス・キリストの名によって祈るなら、何でも答えられる
- ・マタイ28:18～20… 天地宇宙の全ての権威をイエス・キリストは持っておられる

③キリストには要塞を打ち倒す力がある (Ⅱコリント10:4)

- ・「打ち倒す」= 乱暴に壊す

ギリシャ語 dunatos

英語 dynamite

- ・「力」= デュナトス(奇跡・可能)→ 派生語：ダイナマイト… 強大な爆発力がある

大きな建築物を壊すとき・・・

例1 クレーンの先についた道具で壊す方法 → 破壊が始まると結果が見える。

例2 ダイナマイトを計画的に置いて、ある時、爆破する → 見えないが着実。

Ⅲ、イエス・キリストの名による祈り

1、私たちは戦いの武具を用いて、どこで何をするのでしょうか？
(エペソ6:18)

- ①どんなときでも祈る
- ②御霊によって祈る
- ③目を覚まして祈る
- ④忍耐の限りを尽くして祈る